

令和2年度 大倉山記念館 指定管理者業務評価表(自己評価・行政評価)

※実績のチェック欄(数値目標のみ記載)について: 目標に対し+10%超の実績→「A」、目標に対し±10%以内の実績→「B」、目標に対し-10%を下回る実績→「C」

評価項目		令和2年度計画		実施状況		評価		
I 文化事業目標	指定管理者提案(要旨)	達成指標	目標	実績	特記事項	自己評価	行政評価	
1 文化芸術の鑑賞、創作活動の機会の提供及び地域コミュニティの形成・社会的包摂(ソーシャルインクルージョン)を推進します。	1 施設の特性を活かした事業や地域と一体となった事業展開	<ul style="list-style-type: none"> ● オープンデー <ul style="list-style-type: none"> ①年1回実施(2月) ②WEBサイトやSNS等での自主的な発信 ③来場者アンケート「大変満足」と「満足」の合計 ● 観梅会開催時の館内梅装飾 <ul style="list-style-type: none"> ①年1回実施(2~3月) ②WEBサイトやSNS等での自主的な発信 ③観梅会開催日の当館来館者数 ● イルミネーション&ライトアップ <ul style="list-style-type: none"> ①年1回実施(12~1月) ②WEBサイトやSNS等での自主的な発信 ③ライトアップ観覧者総数 	<ul style="list-style-type: none"> ①年1回実施 ②3件以上 ③80%以上 	<ul style="list-style-type: none"> ①年1回実施 ②3件 ③99% 	<ul style="list-style-type: none"> ● 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため9月に規模を縮小し開催。年1回開催・ご利用者様の中から4組ご協力をいただき、港北区在住のカメラマンにお願いし、大倉山祈念館において事前に収録をしていた演奏動画のネット配信を行った。 ● 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、観梅会自体が未開催。開催予定時期に館内 階段・トイレに切り花装飾施工。ただし公園にいらっしゃる方は多く、館内施設(トイレ・自動販売機)のご利用も多くなりました。 ● 季節案件のため、年1回の実施であるが年末から年始にかけて行うもので近隣、ご利用者とも例年通り好評だった。特に子供からの夜を楽しみにする言葉がうれしく思った。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため9月に規模を縮小し開催。年1回開催・ご利用者様の中から4組ご協力をいただき、港北区在住のカメラマンにお願いし、大倉山祈念館において事前に収録をしていた演奏動画のネット配信を行った。 ● 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、観梅会自体が未開催。開催予定時期に館内 階段・トイレに切り花装飾施工。ただし公園にいらっしゃる方は多く、館内施設(トイレ・自動販売機)のご利用も多くなりました。 ● 季節案件のため、年1回の実施であるが年末から年始にかけて行うもので近隣、ご利用者とも例年通り好評だった。特に子供からの夜を楽しみにする言葉がうれしく思った。 	【成果】 ・規模縮小での開催ではあったが、「オープンデー」を開催し、記念館の文化的価値と利用施設としての特徴を、改めて周知することができた。 ・地元で活動する港北ボランティアガイドの協力により館の魅力を紹介するツアーガイドが人気コンテンツとして定着し、記念館がどのような場所かを周知し、利用者との繋がりを深めることができた。また、初めての試みであるネットでの配信も実施した。 ・記念館のイベントにおいてフラワーアレンジメント教室の定期開催、各種のワークショップ開催を通じ、文化活動への参加機会を設けた。大倉精神文化研究所との関係を深め、大倉山記念館ならではのワークショップを行うことで、記念館の認知度を向上し、集客率・ホール・ギャラリーの利用率向上を目指した。 ・四季折々の、花の装飾(正面玄関階段両サイド)や教室を通じて、花の芸術分野による付加価値を創造した。特に、催事に合わせて拡大して行った正面玄関の装飾は、来館者から大変好評を得ることができた。 ・出張授業では、新型コロナウイルス感染症拡大の影響がありながらも、記念館を日頃ご利用いただいているミュージシャンや、大倉山駅に店舗を構える木工工房に声をかけ、小学生に音楽や木工をより身近に感じられる機会を提供し、地域のネットワーク形成に寄与した。	【評価できる点】 ・新型コロナウイルス感染症の影響により規模を縮小しての開催にはなったものの、令和2年度も「オープンデー」を開催し、地域の方や利用者や連携して施設の魅力を紹介する機会を設けたことを評価します。 ・「季節のフラワーアレンジメント教室」や各種ワークショップなどの、大倉山記念館の利用等で中心となるクラシック音楽以外のジャンルの事業を行うことにより、幅広い市民の方に様々な文化芸術の鑑賞や体験の機会を提供していることを評価します。 ・新型コロナウイルス感染症の影響により地域連携型イベントの中止が相次ぐ厳しい状況の中、感染症対策の上、学校プログラム事業等を実施したことを評価します。 ・「季節のフラワーアレンジメント教室」の実施など、指定管理者の強みを活かした自主事業を考案・実施していることを評価します。 ・撮影利用を積極的に誘致・対応することで、多くの撮影実績を上げていることを評価します。また、新型コロナウイルス感染症の影響でオンライン配信の需要が高まるなか、件数増加を見越した設備補充に取り組んでいることも確認しました。 ・SNSを利用した、こまやかな情報発信への取組を評価します。 ・大倉精神文化研究所との協力関係を築き、多言語対応パンフレットを作成するなど、より多くの利用者に向けた取組を実施していることを評価します。
	2 出張事業(アウトリーチ)を積極的に実施	<ul style="list-style-type: none"> ● 横浜市芸術文化教育プラットフォームへの参画 ○ 学校プログラムの実施 	年3校以上	年3校 6回	B	<ul style="list-style-type: none"> ・昨年同様学校数は同じ3校(菊名小・新田小・綱島東小)だったが、新型コロナウイルス感染症拡大防止で収容人数調整のため、菊名小で4回、その他2校では緊急事態宣言発出のため各1回となり計6回の開催となった。菊名小・新田小では声楽の先生を招きみんなで声を出し歌い、綱島小では、用意された木材の切れ端を組み合わせ、子供たちならではのアート作品を作った。 	<ul style="list-style-type: none"> ・昨年同様学校数は同じ3校(菊名小・新田小・綱島東小)だったが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響がありながらも、記念館を日頃ご利用いただいているミュージシャンや、大倉山駅に店舗を構える木工工房に声をかけ、小学生に音楽や木工をより身近に感じられる機会を提供し、地域のネットワーク形成に寄与した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・撮影利用を積極的に誘致・対応することで、多くの撮影実績を上げていることを評価します。また、新型コロナウイルス感染症の影響でオンライン配信の需要が高まるなか、件数増加を見越した設備補充に取り組んでいることも確認しました。 ・SNSを利用した、こまやかな情報発信への取組を評価します。 ・大倉精神文化研究所との協力関係を築き、多言語対応パンフレットを作成するなど、より多くの利用者に向けた取組を実施していることを評価します。
	3 現在実施している事業の継続・発展を進める	<ul style="list-style-type: none"> ● 室内楽シリーズ <ul style="list-style-type: none"> ①年2回実施(7月・1月) ②WEBサイトやSNS等での自主的な発信 ③来場者アンケート「大変満足」と「満足」の合計 ● 大倉山記念館・第9回高校生ギャラリー&ミュージックフェスタ <ul style="list-style-type: none"> ①年1回実施(1月) ②WEBサイトやSNS等での自主的な発信 ③来場者アンケート「大変満足」と「満足」の合計 ● 大倉山記念館「落語会」 <ul style="list-style-type: none"> ①年1回開催(12月) ②WEBサイトやSNS等での自主的な発信 ③来場者アンケート「大変満足」と「満足」の合計 	<ul style="list-style-type: none"> ①年2回実施 ②3件以上 ③80%以上 	<ul style="list-style-type: none"> ①年1回実施 ②3件 ③ネット配信とした 	<ul style="list-style-type: none"> ● 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、開催回数を減らし、ネット配信で開催した。当館初のネット配信となったが、とても好評だったと聞いている。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、開催回数を減らし、ネット配信で開催した。当館初のネット配信となったが、とても好評だったと聞いている。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、開催回数を減らし、ネット配信で開催した。当館初のネット配信となったが、とても好評だったと聞いている。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、開催回数を減らし、ネット配信で開催した。当館初のネット配信となったが、とても好評だったと聞いている。
	4 子育て支援プロジェクトの立ち上げ、運営	<ul style="list-style-type: none"> ● こども映画祭 <ul style="list-style-type: none"> ①年1回実施(12月) ②WEBサイトやSNS等での自主的な発信 ③来場者アンケート「大変満足」と「満足」の合計 	<ul style="list-style-type: none"> ①実施 ②3件以上 ③80%以上 	<ul style="list-style-type: none"> ①内容変更1回実施 ②3件 ③100% 	<ul style="list-style-type: none"> ● 親子連れを対象とした事業で定着してきたと思われる。新型コロナウイルス感染症拡大防止もあり、第10集客室にて通常定員の半数で開催し、未就園児の方々はマットを敷いた上で鑑賞できる工夫をし、内容は「お猿のジョージ」を上映。とても好評だった。また、担当スタッフ自作のツリー型オーナメントも大変好評だった。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 親子連れを対象とした事業で定着してきたと思われる。新型コロナウイルス感染症拡大防止もあり、第10集客室にて通常定員の半数で開催し、未就園児の方々はマットを敷いた上で鑑賞できる工夫をし、内容は「お猿のジョージ」を上映。とても好評だった。また、担当スタッフ自作のツリー型オーナメントも大変好評だった。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 親子連れを対象とした事業で定着してきたと思われる。新型コロナウイルス感染症拡大防止もあり、第10集客室にて通常定員の半数で開催し、未就園児の方々はマットを敷いた上で鑑賞できる工夫をし、内容は「お猿のジョージ」を上映。とても好評だった。また、担当スタッフ自作のツリー型オーナメントも大変好評だった。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 親子連れを対象とした事業で定着してきたと思われる。新型コロナウイルス感染症拡大防止もあり、第10集客室にて通常定員の半数で開催し、未就園児の方々はマットを敷いた上で鑑賞できる工夫をし、内容は「お猿のジョージ」を上映。とても好評だった。また、担当スタッフ自作のツリー型オーナメントも大変好評だった。
	5 地域の若手アーティストや新しい大倉山ブランドの育成・発信	<ul style="list-style-type: none"> ● 白山高校美術コース作品展示会 <ul style="list-style-type: none"> ①年1回実施(8月) ②来場者アンケート「大変満足」と「満足」の合計 	<ul style="list-style-type: none"> ①実施 ②80%以上 	<ul style="list-style-type: none"> ①未実施 - 	<ul style="list-style-type: none"> ● 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため開催中止とした。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため開催中止とした。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため開催中止とした。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため開催中止とした。
	6 横浜市の「先進的な文化芸術」と「地域の文化芸術」の接点を創る	<ul style="list-style-type: none"> ● 横浜市プログラム「音祭り・2019」への参画 <ul style="list-style-type: none"> □年1回実施(8月) 	実施	未実施	-	<ul style="list-style-type: none"> ● 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため開催中止とした。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため開催中止とした。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため開催中止とした。
	7 文化芸術活動に関わりたい方と発信したい方をつなぐ	<ul style="list-style-type: none"> ● 文化芸術活動の支援講座 <ul style="list-style-type: none"> ①年5回以上開催(5月~) ②WEBサイトやSNS等での自主的な発信 ● サークルラウンジの開設 <ul style="list-style-type: none"> 利用状況を把握しながら、段階的に実施 □通年(5月~) 	<ul style="list-style-type: none"> ①年5回以上開催 ②3件以上 	<ul style="list-style-type: none"> ①1回実施 ②3件 	<ul style="list-style-type: none"> ● 秋の芸術祭にて行った。コロナの影響で例年よりも人出が少ないながらも好評だった。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 秋の芸術祭にて行った。コロナの影響で例年よりも人出が少ないながらも好評だった。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 新型コロナウイルス感染症拡大防止から、密を避けるため未実施とした。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 新型コロナウイルス感染症拡大防止から、密を避けるため未実施とした。
	8 定期開催事業や長期事業を展開し、教養や文化の向上とリピーター化を推進	<ul style="list-style-type: none"> ● 第10回大倉山記念館「ワークショップ」(Artsワークショップ)「初めての楽器体験」 <ul style="list-style-type: none"> ①年1回(教室回数6回)実施(5~6月) ②WEBサイトやSNS等での自主的な発信 ③来場者アンケート「大変満足」と「満足」の合計 	<ul style="list-style-type: none"> ①実施 ②3件以上 ③80%以上 	<ul style="list-style-type: none"> ①4回実施 ②3件 ③100% 	<ul style="list-style-type: none"> ● 「日本大好きプロジェクト」による横浜トリエンナーレ参加となった影絵上映会・10月3日の扇子作りワークショップ、10月17日の水墨画のワークショップ・11月4日の紙漉き体験ワークショップ・11月29日藍染体験ワークショップの1回+4回開催。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 「日本大好きプロジェクト」による横浜トリエンナーレ参加となった影絵上映会・10月3日の扇子作りワークショップ、10月17日の水墨画のワークショップ・11月4日の紙漉き体験ワークショップ・11月29日藍染体験ワークショップの1回+4回開催。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 「日本大好きプロジェクト」による横浜トリエンナーレ参加となった影絵上映会・10月3日の扇子作りワークショップ、10月17日の水墨画のワークショップ・11月4日の紙漉き体験ワークショップ・11月29日藍染体験ワークショップの1回+4回開催。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 「日本大好きプロジェクト」による横浜トリエンナーレ参加となった影絵上映会・10月3日の扇子作りワークショップ、10月17日の水墨画のワークショップ・11月4日の紙漉き体験ワークショップ・11月29日藍染体験ワークショップの1回+4回開催。
	9 積極的な市民交流を促進	<ul style="list-style-type: none"> ● 大倉山スタンブラー <ul style="list-style-type: none"> ①実施 ②WEBサイトやSNS等での自主的な発信 	<ul style="list-style-type: none"> ①年1回以上実施 ②3件以上 	<ul style="list-style-type: none"> ①未実施 ②未実施 	<ul style="list-style-type: none"> ● 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止。
	10 大倉山地域の文化を発信、交流する場を開く	<ul style="list-style-type: none"> ● 大倉山スプリングジャズフェスタ <ul style="list-style-type: none"> ①年1回実施(2~3月) ②WEBサイトやSNS等での自主的な発信 ③来場者アンケート「大変満足」と「満足」の合計 ● 夏のオープンギャラリー <ul style="list-style-type: none"> ①年1回実施(8月) ②WEBサイトやSNS等での自主的な発信 ③来場者アンケート「大変満足」と「満足」の合計 ● 国際学生交流会(ハーバード) <ul style="list-style-type: none"> ①年1回実施(6月) 	<ul style="list-style-type: none"> ①年1回実施 ②3件以上 ③80%以上 	<ul style="list-style-type: none"> ①年1回実施 ②3件 ③100% 	<ul style="list-style-type: none"> ● 昨年度新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、未実施となったが、本年は対策を万全にし、開催した。チケットは、昨年予約の方を優先的に案内。設定していた定員がほぼ埋まってしまい、あえて外部告知は行わなかった。アンケートから皆様楽しみにしていらしたことが伝わってきた。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 昨年度新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、未実施となったが、本年は対策を万全にし、開催した。チケットは、昨年予約の方を優先的に案内。設定していた定員がほぼ埋まってしまい、あえて外部告知は行わなかった。アンケートから皆様楽しみにしていらしたことが伝わってきた。 	<ul style="list-style-type: none"> ● (公財)大倉精神文化研究所と共催で「オープンギャラリー」を開催、記念館の紹介・記念館探検ツアー・アマビエ塗り絵コンテスト等を行った。夏休みの子供たちが地域の歴史や魅力に興味をもち当館を知ってもらうことを目的とした展示だったが、アンケートからは自身の地元に興味を持つきっかけになったようだった。 	<ul style="list-style-type: none"> ● (公財)大倉精神文化研究所と共催で「オープンギャラリー」を開催、記念館の紹介・記念館探検ツアー・アマビエ塗り絵コンテスト等を行った。夏休みの子供たちが地域の歴史や魅力に興味をもち当館を知ってもらうことを目的とした展示だったが、アンケートからは自身の地元に興味を持つきっかけになったようだった。
		<ul style="list-style-type: none"> ①実施 	<ul style="list-style-type: none"> ①未実施 	<ul style="list-style-type: none"> ● 新型コロナウイルス感染症拡大の影響で海外からの入国ができず、未実施となった。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 新型コロナウイルス感染症拡大の影響で海外からの入国ができず、未実施となった。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 新型コロナウイルス感染症拡大の影響で海外からの入国ができず、未実施となった。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 新型コロナウイルス感染症拡大の影響で海外からの入国ができず、未実施となった。 	

令和2年度 大倉山記念館 指定管理者業務評価表(自己評価・行政評価)

※実績のチェック欄(数値目標のみ記載)について: 目標に対し+10%超の実績→「A」、目標に対し±10%内の実績→「B」、目標に対し-10%を下回る実績→「C」

評価項目		令和2年度計画		実施状況			評価	
I 文化事業目標	指定管理者提案(要旨)	達成指標	目標	実績	特記事項	自己評価	行政評価	
2 市民協働、市民主体の活動の支援、地域人材育成及び文化的コモンズ形成を牽引します。	11 強みやノウハウを最大限活かす	<ul style="list-style-type: none"> ●季節のフラワーアレンジメント教室 <ul style="list-style-type: none"> ①年6回以上開催(4月～) ②WEBサイトやSNS等での自主的な発信 ③来場者アンケート「大変満足」と「満足」の合計 ●大倉山寄り道コンサート《大倉山サロン》 <ul style="list-style-type: none"> ①年4回以上開催(9月～) ②WEBサイトやSNS等での自主的な発信 ③来場者アンケート「大変満足」と「満足」の合計 	①年6回以上開催 ②3件以上 ③80%以上	①年5回10講座開催 ②3件 ③100%	A B A	・毎回大変好評でキャンセル待ちの状態が毎回続いている。今後も継続しておこなっていききたいと思うが、来期は初心者コースやレベルアップコース 講習日程追加などで新規取り込みを行い、すそ野の広い事業にしてゆきたいと考えている。 ・新型コロナウイルス感染症拡大防止のため未開催。		
	12 地域住民や町内会、学校、近隣施設等との積極的な協働を推進する	<ul style="list-style-type: none"> ●ボランティア養成講座検討会 <ul style="list-style-type: none"> □検討会開催: 年1回以上 ●ハニーカフェ&マルシェ <ul style="list-style-type: none"> □実施: 年2回以上 ●ICTを活用した地域回遊イベント <ul style="list-style-type: none"> □実施: 年1回以上 	年1回以上開催 年2回以上開催 年1回以上開催	未開催 未実施 未実施	-	・新型コロナウイルス感染症拡大防止のため未開催。	【成果】 ・愛護会の活動への協力として昨年に引き続き、植栽・メンテナンス・清掃に参加し、親交を深めた。	
	13 既存の協働の継続と新たな事業展開により、今まで以上に協働を活性化させ、協働と交流の輪を広げる	<ul style="list-style-type: none"> ●大倉山公園愛護会の活動への協力 <ul style="list-style-type: none"> ①大倉山公園愛護会による花の苗植え活動の継続と発展 植え付けおよびお手入れ活動 ②花のタネの配布 ●大倉山ジョイフルコンサート <ul style="list-style-type: none"> ①年6回実施(30年5月・7月・9月・11月/31年1月・3月) ②来場者アンケート「大変満足」と「満足」の合計 	①年4回以上実施 ②年1回実施 ①年6回実施 ②80%以上	①年9回実施 ②年1回実施 ①未実施 ②未実施	A B - -	・花の苗植えと雑草除去の合計回数を記載。徐々に人数も増えてきている。親御さんと一緒にお子さんの参加もちらほら見えるようになった。 入れ替え時に植えてあった植物を無料でお持ちかえりいただいた。まだ楽しめるもの、種・球根が取れ来年も楽しめるもの等があり、良いサービスになった。 ・新型コロナウイルス感染症対策の不安から、港北公会堂へ移動開催。 ・新型コロナウイルス感染症対策の不安から、港北公会堂へ移動開催。	【課題】 ・新型コロナウイルス感染症対策の不安から港北公会堂に拠点移してしまつた2団体について、今後ご利用を再開していただけるよう働きかけたい。 ・新型コロナウイルス感染症拡大の影響から見送りになっていた「ハニーカフェ&マルシェ」開催や自動販売機の新規追加設置などを行い、収益向上を図りたい。 ・新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、文化的コモンズとしての役割が果たせなかつたため、来期は「施設除菌」「手指の消毒」など対策をより徹底し、文化活動の継続、文化的コモンズの形成をさらに推進できるように努めたい。	
	14 運営方法や事業の実施効果の検証に皆様の声を取り入れる	<ul style="list-style-type: none"> ●大倉山ミーティング(利用者懇談会)の開催 <ul style="list-style-type: none"> □年2回以上開催 	年2回以上開催	未実施	-	・新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止。		
	15 大倉精神文化研究所や大倉山公園をはじめ、近隣施設・地域団体等とのネットワーク構築につとめ、文化的コモンズの形成を進めるとともに、文化芸術活動を通じた地域連携活動を展開する	<ul style="list-style-type: none"> ●『おしえて! まちの先生』提供します。 <ul style="list-style-type: none"> ①年1回実施(1月) ②WEBサイトやSNS等での自主的な発信 ③来場者アンケート「大変満足」と「満足」の合計 ○大倉山講演会 <ul style="list-style-type: none"> ①年4回実施(3～7月) ②来場者アンケート「大変満足」と「満足」の合計 ○小さな丘のメリークリスマス <ul style="list-style-type: none"> ①年1回実施(12月) ②来場者アンケート「大変満足」と「満足」の合計 	①年1回以上実施 ②3件以上 ③80%以上 ①年4回実施 ②80%以上 ①年1回以上実施 ②80%以上	①未実施 ②未実施 ③未実施 ①年1回実施 ②87% ①未実施 ②未実施	- - - B - -	・港北区役所地域振興課とも相談協力したが、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から中止とした。 ・大倉精神文化研究所との連携によりコロナ対策を徹底し3月のみ開催した。		
	16 人材育成活動に積極的に取り組む	<ul style="list-style-type: none"> ●文化芸術活動団体の施設WEBサイトでの紹介 利用頻度の高い施設や地域で活動する団体を中心に段階的に展開 □紹介団体: 3団体以上 	3団体以上	2団体	-	横浜ラポール・鶴見川流域水協議会にご協力いただき展示をした件を配信。		
	17 文化芸術の専門的な知見と経験を有するとともに、地域の多様な主体とネットワークを築く専門性と、コーディネート能力を持った人材によって文化的コモンズの形成を牽引する	<ul style="list-style-type: none"> ○大倉山秋の芸術祭(11月) <ul style="list-style-type: none"> ①年1回実施(11月) ②来場者アンケート「大変満足」と「満足」の合計 	①年1回以上実施 ②80%以上	①年1回実施 ②81%	B B	今回は、ネット回線を利用し、ホールで行われた「ファイナルコンサート」をロビーで同時上映したり、3階踊り場を使ってのコンサート等新しい試みを行った。来館者数は少なかったが充実した試みとなった。		
	18 施設と地域が培ってきたものを継承しながら、資源やネットワークをさらに活かし、時代に適した、これからの地域文化拠点として相応しい施設を目指す	<ul style="list-style-type: none"> ○大倉山こどもフェスティバル <ul style="list-style-type: none"> ①年1回実施(5月) ②来場者アンケート「大変満足」と「満足」の合計 ○「大倉山ドキュメンタリー映画祭 <ul style="list-style-type: none"> ①年1回実施(3月) ②来場者アンケート「大変満足」と「満足」の合計 	①年1回以上実施 ②80%以上 ①年1回以上実施 ②80%以上	①未実施 ②未実施 ①未実施 ②未実施	- - - -	・新型コロナウイルス感染症拡大防止のため開催中止。 ・新型コロナウイルス感染症対策の不安から、港北公会堂へ移動開催。		
	19 文化的コモンズ形成のために、文化施設として求められる専門性と、地域の顔として求められる多様な役割を両立するため、この役割を担う多様なコーディネーターを育成し、協働を推進	<ul style="list-style-type: none"> ○市内の他の文化施設や文化団体等との連携事業 <ul style="list-style-type: none"> ①年1回以上(10月～) ②来場者アンケート「大変満足」と「満足」の合計 	①年1回以上実施 ②80%以上	①未実施 ②未実施	- -	・新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止。 ・新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止。		

令和2年度 大倉山記念館 指定管理者業務評価表(自己評価・行政評価)

※実績のチェック欄(数値目標のみ記載)について: 目標に対し+10%超の実績→「A」、目標に対し±10%内の実績→「B」、目標に対し-10%を下回る実績→「C」

評価項目		令和2年度計画		実施状況			評価	
I 文化事業目標	指定管理者提案(要旨)	達成指標	目標	実績	特記事項	自己評価	行政評価	
3 建築物としての保存、管理及び価値の普及並びに市民の円滑な施設利用の促進を図ります。	20 施設の価値と保全の必要性を体感・体験できるイベントや事業の実施	●ガイドツアー (1)施設見学プログラムの実施 ①施設見学ツアー参加: 希望校に対応 (2)観梅会や大倉山オープンヘリテージなどの市内イベント開催時のガイドツアー ②年12回開催 ③WEBサイトやSNS等での自主的な発信 ④来場者アンケート「大変満足」と「満足」の合計	①希望校に対応 ②年12回開催 ③3件以上 ④80%以上	①希望校無し ②未開催 ③未実施 ④未実施	- - - -	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、希望者がいらっしやらず、未開催。 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため未開催。 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため未開催。 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため未開催。	【成果】 ・取材への対応を通じて、大倉山記念館の文化財としての価値を普及する機会を創出した。 ・撮影は目標件数を達成し、また対応においてもトラブル防止に努め、利用者に満足のいく撮影をして頂くことができた。 ・新型コロナウイルス感染症対策に伴い、オンライン配信の需要が高まったため、オープンデーに合わせ無料配信を実施した。また、オンライン配信の需要を見込み、動画配信の需要増加に向け「USBケーブルの購入」など受け入れ態勢を整え、利用件数の増加につなげることができた。	
	21 利用者・地域住民などとととも「大倉山記念館利用ルール」を策定し、広く告知するとともに、遵守を徹底	●関係団体との連携による文化財の保護 ①修繕を実施する際は、横浜市歴史資産調査会(ヨコハマヘリテージ)監修のもと、その内容について可能な限り情報を開示 ②当グループが管理運営する他の文化財施設や全国の文化財施設との連携を深め、情報共有・情報交換を行う	①実施 ②実施	①実施 ②実施	- -	大倉山精神文化研究所と協力し大倉山記念館の歴史的価値を広く開示するために、パンフレットの共有・新規に外国人の方にも記念館を知っていただけるよう多言語パンフレットを作成した。	【課題】 ・(今年度は中止となってしまったが)今後に向けて、前年度好評であった館内見学ガイドツアーを継続して行えるボランティアガイドの育成。 ・ウエディングフォトロケーションについては、「前撮り」「フォトウエディング」の受注が4件、内2件は横浜市内フォトスタジオのリポート案件であったため、今後はツールとプランを整備し、より明確な価格設定で知名度・認知度の向上に努めたい。 ・ネット配信などの注力により、若い世代の利用者の増加を目指したい。 ・施設利用への影響をできるだけ排除した中での撮影の実施と、ネット配信・ライブ配信の件数拡大。 ・館内見学については、人気の塔屋ツアーを継続的に実施できるように検討する。またフォトウエディング等においても塔屋のプランなども用意し、記念館の魅力を余すことなくアピールできる体制を作り、利用率向上につなげていく。	
	22 地域のシンボルとして、メディアの撮影や、一般向けウエディングロケ地として活用し、施設と地域のイメージアップに貢献する	●撮影・ロケの積極的な誘致 ①メディア撮影・ロケへの協力・撮影協力 ②協力会社やロケ地コーディネート会社への積極的な情報の開示 ③ウエディングフォトロケーションとしての活用・撮影協力	①年間35件 ②実施 ③年間2件	①年間45件 ②実施 ③年間2件	A - B	・件数は達成できているが、最近の流れで、規模の小さい個人オンライン配信なども含まれている。特にオンライン配信はすそ野の拡大やアーティスト応援のため特別価格を設定しご利用いただいた。(通常50000円のところ30000円など)収入 2,274,400円。		
	23 地域住民・連携先とともに公園と地域のにぎわいを演出	●大倉山記念館 花めぐり ①年1回以上開催(3月) ②WEBサイトやSNS等での自主的な発信 ③参加者アンケート「大変満足」と「満足」の合計	①年1回以上開催 ②3件以上 ③80%以上	①未開催 ②2件 ③未実施	- - -	・春先の観梅会から桜の時期まで行っていたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、中止とした。		
	24 当施設だけでなく、地域全体の保存と活用を推進する	●今昔建築講座 ①年2回以上開催(6月～) ②WEBサイトやSNS等での自主的な発信 ③参加者アンケート「大変満足」と「満足」の合計	①年2回以上開催 ②3件以上 ③80%以上	①未開催 ②1件 ③未実施	- - -	・新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、開催中止。		
4 広報・プロモーション活動、情報提供します。	25 マルチチャネル、多言語の広報を展開	●施設紹介パンフレットの作成および情報発信 ①現状のパンフレットを参考に、当施設のパンフレットを刷新 ②パンフレットは館内で配布するほか、WEBサイトからのダウンロードも可能とする ③重要な箇所は、英語等の多言語での記載も検討 ●チラシの作成と新聞折込 ①催事や地域の季節の情報をお伝えするチラシを制作 ②チラシは、館内・商店街・最寄り駅・近隣施設等で配布。年4回発行 ③新聞折込: 年4回以上	①実施 ②実施 ③実施 ①実施 ②年4回発行 ③年4回以上	①実施 ②実施 ③実施 ①実施 ②年12回発行 ③未実施	- - - - A C	リニューアルしたパンフレットを継続して利用する。(公財)大倉山精神文化研究所と共同で多言語パンフレットを作成した。 毎月情報誌を作成し、催事を中心とした記念館からの情報をお伝えした。またチラシは館内・最寄り駅商店街市内 公共施設にて配布した。やはり東急線での配布が効果的と思われる。	【成果】 ・SNS(Facebook)を活用し、細かな情報更新を心がけ、「旬」で「新鮮」な情報を配信できるよう努めた。 ・紙媒体として前年度にリニューアルしたパンフレットを継続使用しながら、大倉山精神文化研究所の協力により多言語パンフレットを作成し、配布を開始。日本語以外の言語話者の方へ対応できるよう体制を整えた。 ・地域広告媒体との連携を強化し、認知度や催事の市内全域・より広範囲での周知を目指した。 ・記念館に送付いただくチラシの内容を整理・精査し、周辺施設の文化事業の情報をより分かりやすく揭示・配布した。	
	26 サークル라운ジの設置	●情報コーナーの設置 ①当施設の毎月の催事情報を掲示・配布。 ②周辺施設の文化事業の情報を収集し、掲示・配布 ③情報コーナーではサークル라운ジの開設	①実施 ②実施 ③実施	①実施 ②実施 ③未実施	- - -	当施設の毎月の催事情報を通年掲示した。サークル라운ジにつきましては新型コロナウイルス感染症拡大防止から未開催とした。	【課題】 ・WEBアクセシビリティの再度見直し、より効果的な方法へ移行していきたい。 ・大倉山記念館全スタッフがご利用者様に対し同じレベルでご案内できるようスキルアップしていく。	
	27 大倉山コンシェルジュの配置	●大倉山コンシェルジュによる情報提供 ①地域の情報に精通したスタッフの育成とお客様対応を実施。 ②地域や近隣学校の行事、集まりに積極的に参加・協働。 ③「まちの情報ステーション」として地域の情報を収集・発信。 □年4回以上実施	①実施 ②実施 ③年4回以上	①実施 ②未実施 ③サロンで実施	- - B	カウンターでの会話の中で、地域の情報などを与えたり、逆に頂いたり情報のキャッチボールができていた。 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため未実施。 サロン内で情報開示・共有のため、チラシ・ポスターに掲出を行った。		
	28 全国の店舗と自社WEBサイトで広範囲の広報展開を行う	●利用者の利便性向上に向けての取組 (1)①新規WEBサイトの作成 (2)さまざまな利用者への配慮 ②ピアノやラジオカセットなどの有料貸出や車いす、机やイスの無料貸出 ③多言語での館内案内表示・アンケート実施など、外国人利用者へ配慮した取り組み (3)利用者のご意見を伺う仕組み作り ④館内の目に付きやすい場所に意見箱を設置 ⑤利用者アンケートを実施 ⑥大倉山ミーティングを開催 ●広報よこはま等へ掲載依頼および当グループの広報連携の取組 ①「広報よこはま」や港北区区民活動支援センター発行のフリーペーパー等への積極的な掲載依頼を実施 ②当グループのWEBサイトへのリンクや広報室を活用したプレスリリースによる広域の広報PRを実施	①実施 ②実施 ③実施 ④実施 ⑤実施 ⑥実施 ①実施 ②実施	①実施 ②実施 ③実施 ④実施 ⑤実施 ⑥未実施 ①一部実施 ②実施	- - - - - - - -	(1)リニューアルしたWEBサイトを継続運用し、ホームページに空き状況を公開した。 (2)ご利用者さまの需要をふまえ、ギャラリーにて畳・座布団の貸出を開始した。備品の不具合について、随時修繕・補充し、対応した。特に老朽化に伴う電気不具合交換対応・公園の中という環境から虫の侵入などがあり、網戸の設置で対応した。 (3)多言語案内ツールを作成し、運用開始した。 (4)昨年度よりロビーにご意見箱の設置を継続的に行った。今年度は四半期(3ヶ月毎)にまとめて館内にご意見内容とお答えを告知した。 広報よこはま、タウンニュース、ASA大倉山など、地域誌への掲載依頼を実施した。また、年4回発行の代表企業の指定管理施設紹介の広報誌に、大倉山記念館の施設、催事情報を掲載した。また、代表企業の広報室を活用し、WEBサイトに大倉山記念館WEBサイトのリンクを実施した。大倉山記念館の魅力を拡散につながった。		

令和2年度 大倉山記念館 指定管理者業務評価表(自己評価・行政評価)

※実績のチェック欄(数値目標のみ記載)について:目標に対し+10%超の実績→「A」、目標に対し±10%内の実績→「B」、目標に対し-10%を下回る実績→「C」

評価項目		令和2年度計画		実施状況		評価					
I 文化事業目標	指定管理者提案(要旨)	達成指標	目標	実績	特記事項	自己評価	行政評価				
29	SNSやARなどのICTを活用した積極的なプロモーションを展開	●ソーシャルメディアを活用した情報発信 □Facebookでの情報発信	1回/3日以上	1回/3日	B	開設したFacebookを運用し、記念館や記念館周辺の旬の情報をお伝えした。					
			30	地域や各団体と連携した広報を実施	●関係機関等との連携によるPR活動 ①港北区区民活動支援センターでのPR活動 ②港北ボランティアガイドとの連携による見学ツアーを定期的実施 ③区民活動支援センターにおける利用案内体制の強化 ④港北国際交流ラウンジとの連携強化によるPR活動	①実施			①実施	-	(1)当館での共催事業などを通じ、港北区区民活動支援センターとの広報協力を行った。 (2)港北区国際交流ラウンジにパンフレット設置及び、親和性の高い催事のチラシを設置いただき、外国人の方がたへの周知に繋がった。
						②実施			②実施	-	
						③実施			③実施	-	
						④実施			④実施	-	
31	市民が行う文化芸術活動に対する情報提供や専門家の紹介などを支援	●地域の文化活動団体へ支援 ①既存共催事業各団体との話し合いの上事業を実施 ②現状における課題や要望の解決や改善に尽力し事業の発展に貢献 ③地域の文化活動に関する情報収集 ④施設内情報コーナーを設置し地域の文化活動のパンフレットを配布 ⑤地域の文化活動団体の紹介コーナーで会員を募集 ⑥既存団体の中から希望する活動団体を紹介	①実施	①実施	-	(1)既存共催事業の継続と発展のため、各既存事業における団体との話し合いの場を持ち、事業の継続発展に繋げた。事業の実施を通じて、現状の課題や要望について随時伺い、協議の上、解決・改善に努めた。 (2)地域で活動する文化団体の維持と発展を支援するため、地域の文化団体の芸術活動に関する情報を収集した。施設内に情報コーナーを設置し、地域の文化団体の活動を紹介した。 (3)文化活動を始めたい方への支援として、文化活動団体の紹介コーナーにて、会員の募集を随時行った。					
			②実施	②実施	-						
			③実施	③実施	-						
			④実施	④実施	-						
			⑤実施	⑤実施	-						
			⑥実施	⑥実施	-						
32	各種ガイドラインを遵守	●WEBサイトの新規作成 ①横浜市インターネット情報発信ガイドラインを遵守し、新規WEBサイトを活用 ②催しの情報や年度事業計画書・報告書をWEBサイトに掲載 ③施設の貸出状況、次回抽選日、各室の稼働状況をWEBサイトに掲載 ●新型コロナウイルス感染症拡大防止に伴うガイドラインの遵守	①実施	①実施	-	横浜市インターネット情報発信ガイドラインを遵守して作成したWEBサイトを継続運用した。催しの情報や、施設の貸出状況の情報発信を継続運用した。 新型コロナウイルス感染症対策ガイドラインを遵守し感染拡大防止につとめた。					
			②実施	②実施	-						
			③実施	③実施	-						
33	施設の歴史、見どころをわかりやすく伝え、知識と教養の向上に応える	●歴史的建造物への興味喚起に向けての取組 (1)配布用チラシ制作 ■大倉山精神文化研究所や横浜歴史資産調査会(ヨコハマヘリテイジ)と連携し、配布用チラシを常備し、一般見学者や総合学習授業で来館する小・中学生に配布	実施	実施	-	(公財)大倉精神文化研究所との協力で、創立者大倉邦彦に関するパンフレットを作成 継続運用した。施設紹介・建築紹介パンフレットと併せて、ご希望者に配布した。自分たちが読んでもとても興味がわく内容となっており勉強になるツールとなっている。					

令和2年度 大倉山記念館 指定管理者業務評価表(自己評価・行政評価)

※実績のチェック欄(数値目標のみ記載)について: 目標に対し+10%超の実績→「A」、目標に対し±10%内の実績→「B」、目標に対し-10%を下回る実績→「C」

評価項目		令和2年度計画		実施状況		評価		
II 施設運営目標	指定管理者提案(要旨)	達成指標	目標	実績	特記事項	自己評価	行政評価	
1 文化活動等への施設の提供(貸出業務への取組)を促進します。	市民・利用者の利便性と公平性、施設の維持に配慮し、関係者とともに策定する利用ルールの徹底で、どなたにもわかりやすく、いつまでも快適な施設利用を実現	(1)開館について ■開館日数300日、開館時間:9時～22時(ガイドラインに沿って随時変更) 休館日:計18日(施設点検:12日、年末年始:6日) (2)利用料金について ■料金表による運用 (3)利用者本位の貸出し業務の遂行 ■ご要望やご意見および対応内容の館内等への表示 ■ご要望やご意見の全スタッフの共有 (4)駐車場の運営 ■安全に充分注意し、希望者ができるだけ駐車場を利用できるように臨機応変に対応 ■利用ルールの告知 (5)全スタッフの統一された高レベルの巡回点検 ■毎日、開閉館時にチェックシートを用いて、駐車場の巡回点検を実施 □日常巡回点検の実施	(1)実施	(1)実施	(1)開館について 開館日数 300日(コロナによる休館期間4/8～5/31) 開館時間 9時～22時 休館日 施設点検日:12日間(月1日) 年末年始:12/29～1/3 計6日間 (2)利用料金について、別紙のとおり運用した。 (3)利用者本位の貸出し業務の遂行、適切な貸出しシステムの構築と運用無事故を目標とし、運営した。利用ルールの徹底などをご協力いただき、利用者・市民の方からの希望に耳を傾け、施設運営に反映することで、苦情の未然防止策に努めました。それでも発生してしまった苦情には迅速に対応し、その内容を施設運営に役立てることで、文化財という性格上限界はあるが、利用者が安全・安心で、快適に楽しんでお過ごしいただける環境創りに努めた。 (4)駐車場の運営 ■安全に充分注意し、希望者ができるだけ駐車場を利用できるように臨機応変に対応した。利用ルールの告知を実施した。(1団体1台)また駐車場内は人の通行もあるため「徐行」のお願いを設置した (5)全スタッフ巡回を点検を実施した。 毎日、開閉館時にチェックシートを用いて、駐車場の巡回点検を実施した。	【成果】 ・新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、休館や受注止め、利用定員規制等の要因もあり、非常に苦戦した。感染症対策をより分かりやすくアピールすることで、利用率の向上を図りたい。 ・新規利用者が継続して施設を利用しやすいよう、ご案内を徹底した。 【課題】 ・新型コロナウイルス感染症の影響により落ち込んだ、全室での目標率の達成を目指す。 ・既存利用者同様に、SNS等も活用し新規利用者の更なる開拓を行っている。 ・新型コロナの影響化において「新しい生活様式」を鑑み施設利用を検討する。(リモート会議スペース貸し・フォトウエディングでの活用など)	【評価できる点】 ・利用者に公共性・公平性のある対応を行うとともに、安定的な人員配置を行い、適切に施設運営がなされていることを評価します。特に、窓口スタッフの丁寧な対応により、高い満足度を達成していることを評価します。 ・施設内に旬の花や観葉植物を飾るなど、指定管理者の強みを活かした工夫に取り組み、施設の付加価値を創出していることを評価します。 ・新型コロナウイルス感染症の拡大防止対策を適正に実施したことを評価します。 ・多言語での案内について、パンフレットを作成・運用を開始し、様々な利用者にとっての利便性向上に向けて取り組んでいることを確認しました。 ・大倉山公園等との関係性の強化に向けて、積極的かつ継続的にコミュニケーションをとり、円滑に連携していることが確認できました。 ・業務の基準等に沿い本市の重要施策を踏まえ、適切に運営が行われ、個人情報保護のほか、公共施設として対応すべき事項が確実に実施されていることを確認しました。	【更なる取組を期待する点】 ・料金に関するご案内や新型コロナウイルス感染症拡大防止対策にあたっての必要事項等の説明については、施設職員内で周知徹底し、ご利用者への丁寧な対応を心がけてください。 ・引き続き、近隣住民や関係団体との連携強化やコミュニケーションの向上を期待します。 ・引き続き、個人情報の管理の徹底や適切な施設の提供を行ってください。
			(6)各部屋の目標利用率について □令和2年度年度目標利用率 ホール 88%/ギャラリー 99%/第1会議室 73%/第2会議室 87%/第3会議室 61%/第4会議室 70%/第5会議室 77%/第6会議室 61%/第7会議室 75%/第8会議室 54%/第9会議室 68%/第10会議室 82%	ホール :88% ギャラリー :99% 第1会議室:73% 第2会議室:87% 第3会議室:61% 第4会議室:70% 第5会議室:77% 第6会議室:61% 第7会議室:75% 第8会議室:54% 第9会議室:68% 第10会議室:82%	ホール :65% ギャラリー :77% 第1会議室:60% 第2会議室:45% 第3会議室:46% 第4会議室:59% 第5会議室:60% 第6会議室:51% 第7会議室:57% 第8会議室:30% 第9会議室:41% 第10会議室:66%	□日常巡回点検:1日3回以上実施 ・各集会場ご利用者様入れ替え時に除菌消毒作業を実施 ■各会議室の目標利用率は、新型コロナウイルス感染症拡大防止による影響があり、特に4月～の全館休館の影響が大きく、すべての集會室で計画を大きく割り込んだ。		
2 利用促進・利用者サービスの向上及びアイデア・ノウハウの一層の活用を図ります。	3 公益性・公共性・利用者満足度の高いアイデア・ノウハウを積極的に提案し、施設や地域のファンを増やし、リピーター化を進める 4 苦情発生・要望への対応	(1)花とみどりによる清潔で潤いある環境を演出 ①施設入口に季節の花の寄せ植えやコンテナガーデンを設置 ②集會室や館内共有スペースに観葉植物を配置 ③トイレには生花や鉢物を配置し、環境美化に寄与 (1)利用者ニーズに応じたさまざまなサービスの導入 ①アンケート調査・利用者懇談会などの利用者のニーズに迅速に対応して、運営にフィードバック ②各室利用者や事業共催者へ事前予約によるお弁当販売の実施を検討 ③各種貸出しグッズの提供や車いす、ベビーカーの無料貸出 ④館内に設置した授乳室をより快適で使いやすい環境に見直す ⑤催事開催時に子どもの預かりを行い、母親が安心して催事に参加できるサービスを検討 ⑥館内ベンチの増設を検討 ⑦施設のパンフレットや館内案内の多言語による表示を検討 ⑧英語等を話せる講師による催事を実施し、外国人も参加できるようにする ⑨地域の各種情報を発信する「まちの情報ステーション」としての役割を担う ⑩館内に災害時対応機能付きの自動販売機を設置	①実施	①実施	(1)地域の皆様や施設利用の皆様のご協力により、館内に切り花や寄せ植えを展示した。記念館主催の演出として、観梅会が中止となったため、正面玄関とお手洗い手洗に梅の花の装飾を施した。 ・梅のアレンジ(2/7～2/12)	【成果】 ・ロビーに観葉植物を常設し始めて年数がたっているため、植え替え鉢上げを行った。その際、極力植木鉢の色や雰囲気そろえ内装に合わせ、統一感があるように仕上げた。 ・季節に合わせ、館内の装花・トイレの装花等を行い、季節感と潤いを提供することに努めた。 【課題】 ・授乳室が少し暗く、空気がこもりやすいため、照明などの追加・換気方法の改善、また場所自体の再検討。 ・日本語以外の言語話者も参加できる催事を開催するため、英語等を話せる講師とのネットワーク形成。 ・最も人気のある撮影場所であるエントランス、階段への観葉植物を追加することで、撮影などの受注の増加に努める。		
			②実施	②実施	②新型コロナウイルス感染症拡大防止により未実施 ③車いす・ベビーカーの貸し出しに関してはバリアフリーな環境ではないため、未実施となっておりますが、館外において置き場所の確保に努めた。 ⑤新型コロナウイルス感染症拡大防止のため未実施。 施設運営を通じて、日頃より窓口にいただく施設利用の皆様のご意見を公平公正に拝聴し、駐車場の利用台数の運用や、ホールご利用時の控室の優先利用など、ご利用ルールの改定を行った。 ■授乳室の使いやすい環境を維持しました。日に2回のアルコール除菌を徹底した。 ■新型コロナウイルス感染症拡大防止のため未実行だった。 施設のパンフレットや館内案内の多言語表示を実施しました。また多言語パンフレットを作成・運用開始した。館内に災害時対応機能付きの自動販売機を設置し、運用継続している。			
			③実施	③実施				
			④実施	④実施				
			⑤実施	⑤実施				
			⑥実施	⑥未実施				
			⑦実施	⑦実施				
			⑧年1回以上	⑧未実施				
			⑨実施	⑨実施				
			⑩実施	⑩実施				

令和2年度 大倉山記念館 指定管理者業務評価表(自己評価・行政評価)

※実績のチェック欄(数値目標のみ記載)について: 目標に対し+10%超の実績→「A」、目標に対し±10%内の実績→「B」、目標に対し-10%を下回る実績→「C」

評価項目		令和2年度計画			実施状況		評価	
II 施設運営目標	指定管理者提案(要旨)	達成指標	目標	実績	特記事項	自己評価	行政評価	
3 組織的な施設運営(職員 の確保、配置及び育成)をし ます。	5 施設の特性を熟知したスタッフに よる安全・安心・快適を最優先に 考えた運営組織を構築し、施設 の顔として、利用者や地域住民・ 市民に最高の「おもてなし」を提 供	(1)人材の配置について (2)勤務体制について (3)スタッフ研修 ①運営開始前および運営開始後の定期的かつ計画的な研修を実施 ■今年度は、接客接客や利用受付、緊急時対応等の基本的な内容の 習得を目標とする ②新規人員研修:1回 ③基礎研修:年2回 (4)スタッフミーティングの開催 ④各種ミーティングを開催し、情報共有およびチームワークを醸成 朝礼・全体会議等、定期的なミーティングを開催	9名で運営 計画実施 ①実施 ②1回実施 ③年2回実施 ④実施	9名で運営 計画実施 ①実施 ②1回実施 ③年2回実施 ④実施	(1)人材の配置について 項目人数備考 館長1人 業務全体の統括責任者、対外折衝 職員3人 施設維持管理、イベント・広報、総務 受付アルバイト5人 合計9人 (2)勤務体制について 開館時、閉館時とも1人以上の職員を配置しました。夜間～閉 館時は2名以上を配置し、安全・安心を確保した。学生や主 婦、シルバー人材の活躍の場として、短時間勤務や夜間勤務 を設定した。業務に応じて、スタッフの配置時間や人数を調整 した。 労働基準法を遵守した配置計画とした。 本部サポート部隊との連携を密にし、潤滑な運用を行った。 (3)スタッフミーティングの開催について、各種ミーティングを開 催し、情報共有およびチームワークを醸成することにつなげま した。情報の共有ができて事務所内の壁もなくなった。 朝礼・全体会議等、定期的なミーティングを開催し、本部サ ポート部隊を含む、全スタッフが施設運営に関する情報や利 用者の要望を共有するとともに、スタッフの連帯感や一体感を 醸成した。	【成果】 ・研修を通じて、スタッフそれぞれが考えるおもてなしの気持ちをも って接客にあたり、窓口スタッフの高評価につながった。 ・スタッフ全員がコンシェルジュである意識を持ったことで、ご利用 者様の細かい要望にも対応出来た。また、高いスキルを持つこ とでご利用者様ともレベルの高いコミュニケーションが取れるよう になり、顧客満足度も向上していると思われる。 【課題】 ・スタッフの入れ替わりもあり、改めて情報、課題を共有し、さらな るチームワークを醸成したい。 ・大倉山記念館の文化的価値の普及を目的とした、精神文化研 究所との事業連携をより強化、実施する。 ・地域の活動を知る機会を増やし、記念館の存在・利用を再認識 していただけるよう働きかけ、利用率の向上を図る。		
		(5)地域住民、地域の各種団体、関係機関等との連携体制の確立 ①地域住民へのお声がけなど、スタッフから積極的に コミュニケーションを図る ②ゴミ拾いや花植え活動など、明るく見通しの良い環境づくりに 努める (6)大倉山精神文化研究所との連携強化 ③日頃からスタッフ同士の積極的なコミュニケーションを図るための 連絡調整会の開催 (7)地域の各種団体等との連携強化 ④大倉山地区連合町会や大倉山夢まちづくり実行委員会への 加入を検討→町内会や地域の集会への参加 (8)官民協議体制の確立 ⑤連絡体制の強化	①実施 ②実施 ③月1回 ④年4回 ⑤実施	①実施 ②実施 ③月1回 ④年4回 ⑤実施	地域住民、地域の各種団体、関係機関等との連携体制の確 立として、スタッフの顔が見える運営を目指した。 大倉山精神文化研究所との連携強化 日頃からスタッフ同士の積極的なコミュニケーションを図った。 地域の各種団体等との連携強化 大倉山地区連合町会や大倉山夢まちづくり実行委員会への 加入を検討したが加入はせず、エルム通り商店会との連携を 中心に関係を構築に努めた。 日頃から防犯・感染症対策・事故防止等の情報を共有した。 (8)官民協議体制の確立 ステークホルダーである、区民・利用者・横浜市・当グルー プの共益を目指した効率的な管理運営に努めた。行政のパート ナーとして利用者満足度の向上に努め、得られた利益は施設 運営を通じて利用者に還元した。			
4 本市の重要施策を踏ま えた取組をします。	7 個人情報の適正な取り扱い	(1)個人情報保護への取組 ①代表団体が取得している、(財)日本情報経済社会推進協会 (JIPDEC)の 「プライバシーマーク」認証に準拠した個人情報保護に努める ②グループ内の個人情報保護窓口の管理のもと、法令遵守と情報の 漏洩や不正アクセスなどによるデータ破壊・盗難・改ざんなどのリ スクを十分に理解した上で、取扱い方法・漏洩防止策を構築し、 大倉山記念館の個人情報保護管理体制を構築 ③個人情報のリスク調査、管理台帳の作成、リスクチェックシートの 作成を実施 ④全スタッフに対する個人情報保護研修および試験の実施	①実施 ②実施 ③実施 ④年1回	①実施 ②実施 ③実施 ④年1回	(1)個人情報保護への取組として、代表団体が取得している、 (財)日本情報経済社会推進協会(JIPDEC)の「プライバシー マーク」認証に準拠した個人情報保護に努めた。 グループ内の個人情報保護窓口の管理のもと、法令遵守と情 報の漏洩や不正アクセスなどによるデータ破壊・盗難・改ざん などのリスクを十分に理解した上で、取扱い方法・漏洩防止策 を構築し、大倉山記念館の個人情報保護管理体制を構築し た。 個人情報のリスク調査、管理台帳の作成、リスクチェックシート の作成を実施しました。	【成果】 ・個人情報保護研修を実施し各自にテストを行い、個人情報の取 り扱いの考え方を学んだ。取り扱い上の注意・ルールなどを徹底 し、今年度の個人情報漏洩はなかった。 ・実施事業における委託に関し、既存事業者を選定、新規の場合 は市内事業者を選定し、協力関係を構築した。 ・植え替え時の球根・花苗配布などを行い、花と緑を通じた環境 配慮・施設の美化を実施した。		
		(2)迅速で適切な情報公開 ①情報の公開にあたっては、市の情報公開条例を基本とした 「情報公開規定」を策定し、適切な情報公開体制を確立 ②施設の管理運営に関する情報は、市民(利用者)からの 請求(問い合わせ)があった時だけでなく、積極的に自主的な情報提供 を行う	①実施 ②実施	①実施 ②実施	(2)迅速で適切な情報公開 情報の公開にあたっては、市の情報公開条例を基本とした「情 報公開規定」を策定し、適切な情報公開体制を確立した。 施設窓口や電話での問合せに対し、原則的に全ての情報を公 開することを前提に、その内容に応じた適切な情報の開示を 行いました。施設の管理運営に関する情報は、市民(利用者) からの請求(問い合わせ)があった時だけでなく、積極的に自主 的な情報提供を行った。 開示請求に対して非公開とした場合は、その旨と理由を遅滞 なく伝える。	【課題】 ・市内中小企業への発注増加(年2回の花植え植栽時の植物購 入先など)の検討。 ・外部植栽の一部を「ハーブ」「カラーリーフ」「宿根植物」に入れか えることで、季節ごとにすべてを植え替えることでは感じられな い、年間を通しての変化を演出する。また、植え替え時の植物ゴ ミの削減につなげる。		
		(3)人権尊重の取組 ①スタッフの採用にあたっては、男女の区別なく、適材適所の人材登用 を進める ②障がい者雇用の促進を図るとともに、授産施設からの物品購入を はじめ、障がい者との共生に積極的に取り組む ③すべてのスタッフに対し、業務基本研修、人権研修等を実施 ④人権研修:年1回	①実施 ②実施 ③実施 ④年1回	①実施 ②実施 ③実施 ④年1回	(3)人権尊重の取組として、スタッフの採用にあたって は、男女の区別なく、適材適所の人材登用を進めた。 障がい者雇用の促進を図るとともに、授産施設からの物品購 入をはじめ、障がいのある方との共生に積極的に取り組んだ。 すべてのスタッフに対し、業務基本研修、人権研修等を実施 し、公平・平等利用に関する知識の習得および、人権問題、ユ ニバーサルデザイン等の正しい理解に努めた。 スタッフのワークライフ・バランスを推進するとともに、人権を尊 重し、明るく良好な職場づくりに努めた。			
		(4)環境への配慮 ①環境に配慮し、廃棄物発生抑制に努める ②「市役所ごみゼロ」「横浜市脱温暖化行動指針」「ヨコハマ3R 夢」等の施策や事業に協力する ③花苗の植え付けやグリーンカーテンの設置などを通じて、子どもた ちをはじめ市民に環境学習機会を提供し、環境意識の啓発に努める	①実施 ②実施 ③実施	①実施 ②実施 ③実施	(4)環境への配慮 環境への配慮として、廃棄物発生抑制に努めた。 「市役所ごみゼロ」「横浜市脱温暖化行動指針」「ヨコハマ3R 夢」等の施策や事業に協力した。来期も同様に協力してゆ く。 愛護会活動の中で花苗の植え込みや育成を通じて、子どもた ちをはじめ市民に環境学習機会を提供し、環境意識の啓発を 予定していたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のた め、未実施となった。			
11 市内中小企業への優先発注	(5)市内中小企業振興の取組 ■横浜市中小企業振興基本条例に基づき、資材・消耗品等の購入や設 備機器管理、定期点検等の委託業務は、市内中小企業等へ優先的に発 注を行い、地域企業の育成に貢献する	実施	実施	(5)市内中小企業振興の取組横浜市中小企業振興基本条 例に基づき、資材・消耗品等の購入や設備機器管理、定期点 検等の委託業務は、市内中小企業等へ優先的に発注を行い、 地域企業の育成・成長に貢献した				

評価項目		令和2年度計画		実施状況		評価		
Ⅲ維持管理目標	指定管理者提案(要旨)	達成指標	目標	実績	特記事項	自己評価	行政評価	
1 施設及び設備の維持保全及び管理をします。	1 経験と実績を活かした的確な日常管理	(1)安全・安心できる施設の維持 ■①「業務の基準」の設備等保守管理項目を遵守し、日常的・定期的な施設点検を実施。必要に応じて緊急点検を実施 ■施設・設備維持管理の専門スタッフを配置 ②定期的な施設点検 ③建築物点検マニュアル及び建築物定期報告に準拠した点検	①実施	①実施	■点検チェックリストを作成し、常駐施設管理者による日常点検を実施した。 大雨等の発生時・震度4以上の地震発生時には緊急点検を実施した。 ■電気工事士の有資格者を副館長として常駐させると共に西田装美より適宜専門技術者を派遣する体制をとった。 ■毎日の巡回点検の他、月1回作動点検、年1回専門技術者による点検を実施した。 ■年1回の自主点検を行った。	【成果】 ・点検チェックリストを新規に作成し日常の点検に使用した。 ・維持・保全計画体制を継続構築することが出来た。 ・清掃点検においてはダブルチェック体制を徹底して行い、美化に努めた。 ・記念館周りの落葉清掃においては北部公園事務所と打ち合わせを行い処理でき、北部公園事務所との月例会議出席会議において情報共有し確認できた。 【課題】 ・年一回の自主点検のほか、年々老朽化が進むため、事前に問題を予測し、施設維持に努める必要がある。 ・月一回の休館日においては維持管理の観点より計画通りに項目別に維持管理を行う上で、計画以上に細かく終日かけて行うこととの認識でのぞむように意識を変えたい。	【評価できる点】 ・消毒液の設置等を実施し、適切に感染症防止対策に取り組んでいることを評価します。 ・アルコール消毒による椅子等の色落ちについて、色の塗り直しなどを迅速に行っていることを評価します。 ・業務の基準等に基づき、指定管理者内の共同事業体、大倉山公園を管理する北部公園緑地事務所と連携し、施設・設備・施設周辺環境の保全・管理が適切に行われていることを確認しました。 ・小規模の破損や故障なども含めた施設の不具合について、細やかな対応を迅速に行い、記録に残し、適切に対応していることを評価します。 ・同施設内の大倉山精神文化研究所や北部公園緑地事務所と適切に緊急時・災害時等の対応体制が整えられていることを確認しました。 ・緊急時に全職員が適切に対応できるよう、消防訓練・防災訓練、災害用備蓄品の整備等を実施していることが確認できました。	
			②月1回	②月1回				B
			③年1回	③年1回				B
	2 高い専門性を有する市内事業者による定期・法令点検の徹底	(2)中長期視点での施設・設備の維持管理計画の立案 ■①構成団体および市内の専門事業者が施設・設備を点検し、中長期視点での施設・設備の維持・保全計画を立案する ■修繕履歴から現状と課題の把握、部品調達先の確認 ②中長期計画の策定	①実施	①実施	■定期的に施設・設備を点検の上、維持・保全の年間計画を立案した。 ■過去の修繕履歴を確認の上、継続して設備の維持維持管理を行った。 ■毎年3月に年度計画を策定	【更なる取組を期待する点】 ・引き続き、北部公園緑地事務所と定期的な打合せを行い、情報交換やコミュニケーションをとり、安全安心な施設環境の提供を連携して進めてください。 ・横浜市の有形文化財であることから、修繕の内容によって、教育委員会事務局生涯学習文化財課と協議することが求められます。また、設備等の老朽化も進んでいることから、突発的な不具合を極力発生させないよう、日常的により詳細な点検を行うことを期待します。 ・長期保全の視点も踏まえ、引き続き、指定管理者において小破修繕を確実に実施するとともに、引き続き記録を取り、職員間・指定管理者間・本市と情報共有することを求めます。 ・新型コロナウイルス感染症対策については、感染症対策の手段等を含め、事業体間でも情報共有を行いながら進めていくことを期待します。		
			②年1回	②年1回			B	
			③年1回	③年1回			B	
	3 どなたにも安全・安心で快適な空間を提供	(3)快適で安心できる環境の維持 ①「業務の基準」の清掃項目一覧及び清掃内容一覧を遵守し、チェックリストを作成し、日常・定期清掃を実施 ②構成団体の専門家による日常点検チェックリストを作成し、日々、スタッフが巡回点検 (4)樹木・公園設備等の点検管理 ①代表団体のグループ会社に所属する樹木医や造園施工管理技師による植物の点検と日常手入れの助言を実施 ②樹木診断:年1回 ③「業務の基準」の公園管理項目一覧を遵守 ④北部公園緑地事務所との連携	(3)①実施	(3)①実施	■基準に沿った日常清掃及び定期清掃を実施し、清掃後には常駐設備員同行の下、チェックリストに基づき点検評価を行った。 ■清掃管理評価資格者が作成した清掃チェックリストに基づき常駐設備員が巡回点検した。 ■ベテラン清掃員による日常清掃を毎日実施する他、各スタッフも適宜清掃を行った。 ■清掃作業監督者立会いの下毎月定期清掃を実施している。 ■定期的に施設・設備を点検の上、維持・保全の年間計画を立案した。 ■過去の修繕履歴を確認の上、継続して設備の維持維持管理を行った。 ■毎年3月に年度計画を策定。 ■良好な環境維持に努め、都度落ち葉清掃に努めた。 ■代表企業のグループに所属する樹木医に植物の点検を行い、助言をもらった。 ■樹木診断:年1回実施 ■「業務の基準」の公園管理項目一覧を遵守致した。 ■地域住民・行政機関・指定管理者3社によりより良い景観作りに取り組んだ。 ■北部公園緑地事務所との連携を行い落ち葉処理等、他の打合せを行いました。また、月に1回情報交換のミーティングを行った。 ■観梅会時期における課題の共有と対策など、北部公園緑地事務所との連携により、利用者の利便性向上を目指す。同所との連携においては記念館側から提案を都度試み、実績以上に密接な関係が構築したが規模縮小に伴い共有のみとなる。	【成果】 ・老朽化が進み、起こってしまう突発的な不具合を回避するため、日常的に詳細な点検を行い、予防的なメンテナンスを行った。また、問題・不具合は必ず横浜市と共有し対応した。引継ぎ時に受領した修繕記録の修繕履歴等から、調達先を確認し、予備品の確保を行う事が出来 早期の対応ができた。来期も継続して行く。 【課題】 修繕記録から確認したところ、生産中止部品も多くストック確保が難しい材料や、代替え部品対応も多いため、スタッフ間にて早めの報告共有を行い、大事に使用する必要がある。		
			(3)②実施	(3)②実施				
			(4)①実施	(4)①実施				
			(4)②年1回	(4)②年1回			B	
			(4)③実施	(4)③実施				
			(4)④実施	(4)④実施				
2 小破修繕への取組を行います。	4 市の指定有形文化財であることを十分に理解し、横浜市文化財保護条例を遵守	(1)施設・設備の予防保全 ①過去の修繕履歴をしっかりと引継ぐ ②現状の把握、問題箇所の抽出、材料・部品等の調達先(メーカー等)の確立を行う	①実施	①実施	■引継ぎ時に過去の修繕記録を受領した。 ■材料・部品等の調達先を過去の修繕履歴等で調べ、調達先を確立した。衛生用品、電材等は不具合発生時に即時対応が出来るように予備品をストックしている。 計画を立案 ■定期的に施設・設備を点検の上、維持・保全の年間計画を立案致した。 ■毎年3月に年度計画を作成致した。	【成果】 ・老朽化が進み、起こってしまう突発的な不具合を回避するため、日常的に詳細な点検を行い、予防的なメンテナンスを行った。また、問題・不具合は必ず横浜市と共有し対応した。引継ぎ時に受領した修繕記録の修繕履歴等から、調達先を確認し、予備品の確保を行う事が出来 早期の対応ができた。来期も継続して行く。 【課題】 修繕記録から確認したところ、生産中止部品も多くストック確保が難しい材料や、代替え部品対応も多いため、スタッフ間にて早めの報告共有を行い、大事に使用する必要がある。		
			②実施	②実施				
	①実施	①実施						
	②年1回	②年1回	B					

令和2年度 大倉山記念館 指定管理者業務評価表(自己評価・行政評価)

※実績のチェック欄(数値目標のみ記載)について: 目標に対し+10%超の実績→「A」、目標に対し±10%内の実績→「B」、目標に対し-10%を下回る実績→「C」

評価項目		令和2年度計画			実施状況		評価	
Ⅲ維持管理目標	指定管理者提案(要旨)	達成指標	目標	実績	特記事項	自己評価	行政評価	
3	事故防止体制・緊急時(防犯)の対応・感染症対策等衛生管理を徹底します。	「利用者・地域住民の安全・安心」を第一に考えた予防的対策と緊急時対応体制の整備を実施	(1)「利用者・地域住民の安全・安心」を第一に考えた予防的対策 ①事故などの原因となる現象や状況(ハザード)をまとめた、ハザードマップを作成 ②防犯カメラの設置箇所について、適宜見直しを行う ③「港北AAA防犯情報メール」の運用継続 ④救急セットやAEDの配置及び保守運用を徹底 ⑤事象別のマニュアルの作成と研修や訓練による急病人への適切な対応 ⑥全スタッフの普通救命講習の受講 ⑦急な天候の崩れや光化学スモッグの発生などを施設やWEBサイトで告知 ⑧犯罪の起こりにくい施設環境を調え未然防止に努める ⑨消毒液を設置しインフルエンザ・ノロウイルス対策新型コロナウイルス感染症拡大予防対策を徹底 ⑩トイレに手洗い方法の説明を掲示 ⑪手洗い方法の英語表記 ⑫外部委託スタッフを含む全スタッフへの研修および勉強会:年2回 (2)利用料金の確実な管理 ⑬事務所に、警備会社が提供する入金機を設置 (3)利用者の安全・安心の確保 ⑭スタッフによる定時巡回を実施 ⑮スタッフ不在となる時間帯は機械警備を行い、24時間の警備体制を構築 ⑯危険箇所の抽出を行いハザードマップを作成 ⑰ハザードマップによる日々の巡回を行う (4)全スタッフの統一された高レベルの巡回点検 ⑱毎日、閉館時にハザードマップを基に作成したチェックシートを用いて、施設内の巡回点検 ⑲日常巡回点検	①実施 ②実施 ③実施 ④実施 ⑤実施 ⑥実施 ⑦実施 ⑧実施 ⑨実施 ⑩実施 ⑪実施 ⑫2回実施 ⑬実施 ⑭実施 ⑮実施 ⑯実施 ⑰実施 ⑱1日2回以上	①実施 ②実施 ③実施 ④実施 ⑤実施 ⑥実施 ⑦実施 ⑧実施 ⑨実施 ⑩実施 ⑪実施 ⑫2回実施 ⑬実施 ⑭実施 ⑮実施 ⑯実施 ⑰実施 ⑱1日3回実施	■事故などの原因となる現象や状況(ハザード)をまとめた、ハザードマップを作成した。(毎年更新) ■防犯カメラの設置箇所について、考慮した。 ■港北区役所が発信する、地域で起きた犯罪情報の速報が届く「港北AAA(安全で安心な明日を)防犯情報メール」へ登録し継続運用 ■救急セットやAEDの配置及び保守運用を徹底した。 ■事象別のマニュアルを作成するとともに、日頃から研修や訓練を行い、体調不良の方や急病人に適切に対応した。 ■全スタッフに普通救命講習を受講した。(AED講習) ■急な天候の崩れや光化学スモッグの発生などを施設ご利用者に告知した。 ■犯罪の起こりにくい施設環境を整え、未然防止に努めた。 ■手指消毒液を設置し、インフルエンザ・ノロウイルス対策・新型コロナウイルス感染症拡大防止の徹底をした。 ■トイレに手洗い方法の説明を掲示した。 ■手洗い方法は、英語での案内も表示しました。 □外部委託スタッフを含む全スタッフへの研修および勉強会:年2回 ■事務所に、警備会社が提供する入金機を設置し、利用料金等の現金を適正・確実に管理致しました。運用継続した。 ■スタッフによる定時巡回を励行しました。 ■スタッフ不在となる時間帯は機械警備を行い、24時間の警備体制を構築します。 ■現状の把握、危険箇所の抽出を行い、ハザードマップを作成した。 ■ハザードマップによる日々の巡回を行い、危険箇所については、内容により、行政機関を含め関係者と連携して改善を図った。 ■毎日、閉館時にハザードマップを基に作成したチェックシートを用いて、施設内の巡回点検を実施した。 □日常巡回点検:1日2回以上	【成果】 ・都度ハザードマップの新規作成により、予防対策は出来、防犯カメラ利用も初年度より継続して使用している。 ・衛生面においては館内2ヶ所に消毒液の設置により、利用者の感染予防意識を高めた。また研修及び勉強会は消防関連と同日に2回行い、意識向上も得られた。 ・現金管理においては継続して入金機への入金による管理を行い、閉館時(22:00以降)は機械警備により管理した。事故はなかった。 【課題】 ・ハザードマップを作成したが、警備の確認もチェックシートにて確認するのもスタッフ各自が行うことなので、常に『ヒヤリ・ハット』の気持ちを全員にて共有する意識を持ち館独自の連絡帳にて記載し、その日出勤していない人員への報告を徹底することを継続的に全員で行ってゆく。(緊急連絡網の活用)また、LINEアプリを使いタイムリー且つ、迅速な情報共有を行うように努める。	
4	防災に対する取組を実施します。	情報の一元管理と市・本部との情報共有体制の構築および、緊急時の速やかな対応と施設被害の最小化、迅速な利用再開への対応	(1)緊急時対応体制の構築とマニュアルの整備 ①防火管理者を配置 ②防火計画書を作成し、消防署へ提出 ③横浜市防災計画に基づく対応マニュアルと連絡網を整備 ④連絡網は、市・区に提出 ⑤各関連機関の電話番号を事務所電話の短縮に登録・掲示 ⑥マニュアルと連絡網は、携帯用冊子にし、スタッフは常に携帯 ⑦大規模災害等が発生した場合は、行政機関と協力し、迅速な利用再開に努める (2)日常における防災対策の実施 ①防災・防火訓練を実施 消防・防火・防災訓練:年2回 ②災害用備蓄品を準備するとともに、リストを作って管理し、定期的に確認、備蓄を更新 (3)緊急時のためのスタッフ確保 ①緊急時に迅速な現場対応ができるよう、近隣在住スタッフを確保 ②利用者に、避難導線をお伝えし、避難場所の指導 ③訓練により判明した課題をマニュアルに反映	①実施 ②実施 ③実施 ④実施 ⑤実施 ⑥実施 ⑦実施 ⑧実施 ⑨実施 ⑩実施 ⑪実施 ⑫実施 ⑬実施 ⑭実施 ⑮実施 ⑯実施 ⑰実施 ⑱実施	①実施 ②実施 ③実施 ④実施 ⑤実施 ⑥実施 ⑦実施 ⑧実施 ⑨実施 ⑩実施 ⑪実施 ⑫実施 ⑬実施 ⑭実施 ⑮実施 ⑯実施 ⑰実施 ⑱実施	■消防計画を作成の上、港北消防署に提出済。 ■緊急時対応マニュアル及び緊急連絡網を作成し適宜見直しをしている。 ■連絡網は関係機関に提出済。 ■緊急連絡先については事務所の電話に短縮登録致している。 ■マニュアル・連絡網は当館スタッフ全員が携帯している。 ■災害発生時に適切に行動出来る様定期的に訓練している	【成果】 ・マニュアル・計画書・連絡網を作り行政各所に提出できた。また、建造物が文化財であり、公園内にあることから防火管理を徹底し、防火対策を実施することができた。 【課題】 ・上記マニュアル・計画書・連絡網の作成だけでなく、その活用においてスタッフ全員で共有化していく ・防災の観点からも休館日を利用した消防訓練・防災訓練を年2回実施する予定だったが春はコロナにより中止となった。非常時に備える心を養う意味でも年2回訓練実施を継続案件として考えている。	
5	その他管理に関する事項	電主任技術者による適切な設備管理	(1)当グループの電主任技術者による維持管理 ①自家用電気工作物の保安、監督を実施 ②施設・設備維持管理の専門スタッフを配置 ③自家用電気工作物の工事、維持及び運用に関する保安監督業務を適正・的確に行う ④自家用電気工作物が、人体に危害を及ぼしたり物件に損傷を与えないよう維持	①実施 ②実施 ③実施 ④実施	①実施 ②実施 ③実施 ④実施	■館長以外・副館長をはじめ市内在住のスタッフが多く勤務している。 ■利用代表者の方に避難経路を都度説明。 ■適宜、緊急時対応マニュアルを更新している。特に古い建造物になり、避難経路など注意する箇所が多いため、気が付いたときに更新し、共有した。	【成果】 ・関東電気保安協会と契約し自家用電気工作物の保安・監督の委託を行った。 ・電気工事士の有資格者を配置完了・継続中。 【課題】 ・上記取得者による小まめな日常点検を励行していく。	

令和2年度 大倉山記念館 指定管理者業務評価表(自己評価・行政評価)

※実績のチェック欄(数値目標のみ記載)について: 目標に対し+10%超の実績→「A」、目標に対し±10%以内の実績→「B」、目標に対し-10%を下回る実績→「C」

評価項目		令和2年度計画			実施状況		評価	
IV 収支	指定管理者提案(要旨)	達成指標	目標	実績	特記事項	自己評価	行政評価	
1 指定管理料にのみ依存しない収入構造を構築します。	1 崑年度は、現行料金を維持。他施設の状況調査および利用者の声を聴き、次年度以降の料金設定を検討	(1)安定した利用料金収入の確保 ①貸出情報をWEBサイトやSNSで発信し、稼働率の向上を図る ②定期的に利用者の声を聞き、その内容を可能な限り運営に反映 ③利用者と連携し、CDや自作のアート作品を販売する「物販」も積極的に実施	①実施 ②実施 ③実施	①実施 ②実施 ③実施	-	■安定した利用料金収入の確保 貸出情報をWEBサイトやSNSで発信し、稼働率の向上を図った。 定期的に利用者の声を聞き、その内容を可能な限り運営に反映することで、利便性の向上を図り、稼働率を向上させた。	【成果】 ・積極的なWEBサイトの活用により新規ご利用者の発掘が出来た。 ・ご利用者いただいたご意見は出来るところからすぐに対応した。 ・一度利用された方がリピーターとして再度利用いただく、または、新しい利用者を紹介いただくなど、既存顧客を維持しながら新規利用者開拓ができた。	【評価できる点】 ・ロケ、撮影利用について、目標を達成し、指定管理料以外の収入を得たことに加えていることを評価します。また、撮影場所となることで施設のPRにも寄与していることを確認しました。 ・新型コロナウイルス感染症の影響で厳しい状況の中、ネット配信の割引設定等によりアーティスト支援を行うとともに、文化活動の継続に向けて取り組んでいることを評価します。 ・施設運営に対する利用者のご意見の迅速な反映など、リピーターの獲得に向けて、利用者目線での運営に取り組んでいることを評価します。 ・照明や空調のこまめな対応など、日常的な管理による経費削減の取組を行っていることが確認できました。
	2 稼働率の向上と安定した収入確保を目指す	(1)ロケ・撮影利用の拡大 ■積極的な広報PRで、ロケや撮影の利用を増やし、収入確保につなげる ①メディア撮影・ロケ撮影協力 ②フォトロケーション撮影協力	①年間35件 ②年間2件	①年間45件 ②年間2件	A B	ロケ・撮影利用の拡大・ネット配信などのニーズをとらえ、ケーブルの準備など、配信環境の整備を早い段階で行った。 広報PRにより、ロケや撮影の利用を増やし、収入確保に向けた体制作りを行いました。ネット配信につきましてはこれから需要が高まると見込み、割引金額を設定しアーティストの支援を行った。	【課題】 ・ロケ・撮影に関しては計画件数達成し、次年度以降も継続的に、利用履歴から既存顧客へのフォローと、ご利用いただき映像が流れることによる宣伝効果による新規取り込み、認知拡大に努めていく。 ・記念館にての事前式としての利用(本年7月施工、個人撮影ウエディング、着物、記念写真としての使用等件数増寄与できる案内告知を推奨してゆく。また継続的に受注に結びつくように努めていく。(有料の撮影シェアアップを大前提としたご案内をしてゆく。)	【更なる取組を期待する点】 ・指定管理料に依存しない収入確保に向けて、引き続き撮影代金収入の増に向けた取組や検討を行うことを期待します。特にコロナ禍で需要の拡大が見込まれる配信等については、収入増に向けた積極的な取組を期待します。 ・利用料金収入以外の収入源として、公的な助成金・補助金等の獲得について記載がありませんでしたが、新型コロナウイルス感染症の影響により利用料金収入や事業収入の増加が見込みにくい現状では重要な収入源の候補になりますので、今後検討していくことを期待します。
2 経費削減等効率的運営に努力します。	3 スタッフの効率的な運営によるコスト削減と施設の魅力や価値の広い発信による利用促進で収入増を図る	(1)効率的・効果的な維持管理運営によるコスト削減 ①マルチジョブシステムを採用し、スタッフの効果的な配置と効率的な運用により、コスト削減に寄与 ②スタッフの定期巡回により、節電や空調管理を徹底 ③エネルギー管理を強化し、次年度以降の目標策定に役立てる	①実施 ②実施 ③実施	①実施 ②実施 ③実施	-	■効率的・効果的な維持・管理運営によるコスト削減 スタッフの効果的な配置と変形労働時間制を採用した柔軟な出勤体制で、サービス水準を維持し、人員の効率化をはかった。 スタッフの定期巡回による、節電や空調管理を徹底した。 マルチジョブシステムを採用し、スタッフの効果的な配置と効率的な運用により、コスト削減に努めた。 横浜市の環境施策を理解し、施設の目標を定めるとともに、館内での掲示を通じて、施設利用の皆様への啓業に努めた。エネルギー管理を強化し、目標設定に役立てた。	【成果】 ・経費削減となった要因として、スタッフ各自の意識向上とご利用者様の協力を得て削減できた(節電・節水)、こともあるが、新型コロナウイルス感染症拡大防止策による、閉館・時間短縮による削減も大きいと考える。	【課題】 ・節電においては、無駄をなくし、最終コマの時間帯は、利用の無い場所の消灯を行い電気代圧縮に努めた。
	4 効率的な施設運営による経費削減策の実施	(2)光熱水費の削減努力 ①日々の節電・節水・空調温度設定管理、可能であれば設備運転時間の変更を実施 ②設備の改善・修繕などの設備投資型省エネルギー対策(省エネルギー機器を更新導入)を可能な範囲で徐々に取り入れ、さらなる使用削減・コスト削減を目指す ③施設スタッフはもちろん、各室やトイレにも節電や節水への協力を依頼する案内等を掲示し、利用者にも呼び掛ける	①実施 ②実施 ③実施	①実施 ②実施 ③実施	-	■光熱水費の削減努力 エネルギー管理・点検を強化した。 日々の節電・節水・空調温度設定管理を徹底。また、電力業者を変更し、光熱費の削減に努めた。 一人ひとりのスタッフ「節電・環境維持」の意識を持ち、無駄をなくす徹底管理など、運用改善型省エネルギー対策によって使用量減少に努めた。 設備の改善・修繕などの設備投資型省エネルギー対策(省エネルギー機器を更新導入)を可能な範囲で徐々に取り入れ、さらなる使用量削減・コスト削減に努めた。 施設スタッフだけでなく、各室やトイレにも節電や節水への協力を依頼する案内等を掲示し、利用者にも呼び掛けた。		

評価項目		令和2年度年度計画			実施状況		評価	
V PDCAサイクルの確実な運用	指定管理者提案(要旨)	達成指標	目標	実績	特記事項	自己評価	行政評価	
PDCAサイクルの確実な運用	1 日報及び月報の作成・管理	(1)業務記録の整備 ①市と協議の上、日報および月報のフォーマットを作成、業務の記録と管理を適正に行う (2)業務内容の報告と共有 ②緊急を要するもの、重要な件は迅速に市に報告 ③日々の業務内容は本部サポート部隊も内容を把握、共有	①実施 ②実施 ③実施	①実施 ②実施 ③実施	(1)業務記録の整備 市と協議の上、日報および月報のフォーマットを作成し、日々業務の記録と管理を適正に行った。 (2)業務内容の報告と共有 緊急を要するものや重要な件に関しては、迅速に市へ報告した。 日々の業務内容は、現場スタッフだけではなく、本部サポート部隊も内容を把握・共有した。	【成果】 ・報告業務においては不明な点はその都度確認することを励行した。 【課題】 ・ご意見に対して、早急な対応を行うよう心がけているが、文化財という特性上、対応に行政への相談が必要な案件もありすぐ対応できない場合もあるため、どの案件においても進捗報告を怠ることなくご利用者様に納得いただけるよう努める。	【評価できる点】 ・業務の基準等に基づき、適切に業務記録の整備、業務計画・報告の作成等が行われていることを確認しました。 【更なる取組を期待する点】 ・特筆すべき事項なし。	
	2 業務計画書及び業務報告書の作成・管理	(1)業務計画書の確実な遂行 ①業務計画書に則り、計画的かつ確実に業務を遂行 ②実施した事業は報告書に記録し、管理 ③業務計画書と業務報告書は適宜、市へ報告 ④本部サポート部隊によるPDCAサイクルの推進 ⑤利用者の声を聞き取りニーズを反映した事業計画に刷新	①実施 ②実施 ③実施 ④実施 ⑤実施	①実施 ②実施 ③実施 ④実施 ⑤実施	-	(1)業務計画書の確実な遂行 新型コロナウイルス感染予防から実施できなかった事業が多く、確実な遂行とはならなかった。 実施した事業は報告書に記録し、管理した。 業務計画書と業務報告書は、適宜、市へ報告した。 本部サポート部隊によるPDCAサイクルを推進した。 (2)利用者のニーズや声を反映した事業計画の策定 事業を進めていく中で、ご利用者様の声を聞き取り、何が必要か、何を求めているのかを感じ取り、よりニーズを反映した事業への刷新を進めた。		
	3 業務評価(モニタリング、自己評価、第三者による評価の実施)	(1)利用者や市民のご意見やご要望の集約 ①ご意見箱や利用者アンケート、電話等、いただいたご意見ご要望をデータで一元管理 ②いただいたご意見ご要望や全スタッフと本部サポート部隊が共有 ③いただいたご意見ご要望や市と共有 (2)セルフモニタリングの実施 ④現場スタッフおよび本部サポートによるセルフモニタリングを実施 ⑤セルフモニタリングの内容は市と共有 (3)執行状況確認会議の実施 ⑥執行状況について現場と本部が確認する「執行状況確認会議」を開催 (4)ご意見やご要望の施設運営への反映 ⑦いただいたご意見やご要望は基準を設け、市と協議の上、施設運営に反映 ⑧反映した内容を広く公表し、その内容についてのモニタリングを実施し、PDCAサイクルが適切に運用する環境を整備	①実施 ②実施 ③実施 ④実施 ⑤実施 ⑥月1回開催 ⑦実施 ⑧実施	①実施 ②実施 ③実施 ④実施 ⑤実施 ⑥月1回開催 ⑦実施 ⑧実施	B	(1)利用者や市民のご意見やご要望の集約 ご意見箱や利用者アンケート、電話等、すべてのご意見やご要望のデータを専用フォルダで管理した。 いただいたご意見やご要望は、全スタッフと本部サポート部隊が共有し、対応を検討した。 内容を市と共有しました案に対して実現可能かを相談した。 (2)セルフモニタリングの実施 現場スタッフおよび本部サポートによるセルフモニタリングを実施した。 セルフモニタリングの内容はモニタリングで、市と共有した。 (3)執行状況確認会議の実施 執行状況について現場と本部が確認する「執行状況確認会議」を開催した。 □執行状況確認会議:月1回 (4)ご意見やご要望の施設運営への反映 いただいたご意見やご要望については基準を設け、市と協議した上で、可能な限り施設運営に反映させた。 反映した内容を広く公表し、さらにその内容についてのモニタリングを実施し、常にPDCAサイクルが適切に運用できる環境整備に努めた。		

評価項目		令和2年度計画			実施状況		評価	
VI 留意事項	指定管理者提案(要旨)	達成指標	目標	実績	特記事項	自己評価	行政評価	
留意事項	1 保健及び損害補償の取り扱い	(1)施設賠償責任保険への加入 ①利用者が安全・安心に利用できる施設であることを保証 ②事故の発生がないよう努める	①実施	①実施	(1)施設賠償責任保険への加入 利用者が安全・安心に利用できる施設であることを保証しました。文化財のためバリアフリー化されていないが、ご年配の方のご利用が多いため、責任保険への加入は安心につながる。 □保険の適用事由となる事故の発生はなかった。	【成果】 ・保険加入の継続。 【改善が必要と考えられる点】 ・ご年配のご利用者様へのケア(バリアフリー化・角や突起物のゴムなどによるカバーが必要だと考える。 ・近隣対策としては、騒音・会話の声などには特に注意し、当館のご利用者様をはじめ、公園利用者の方にも、夜間の限度を超えた音量の会話などにご注意申し上げます。 ・また、撮影・事業などで音・光など近隣の住民の方に影響が出る可能性がある場合は事前にお手紙などでご案内をさせていただいた。	【評価できる点】 ・業務の基準等に基づき、適切に施設の提供を行うとともに、関係機関等への対応等を行っていることを確認しました。 【更なる取組を期待する点】 ・引き続き、近隣の皆様のご迷惑にならない施設運営を心掛けてください。	
			②実施	②実施				
			③実施	③実施				
	2 関係法令などの遵守	(1)適切な許可及び届出等 ①観梅期など多くの来場者が見込まれる期間においては、飲食物の販売などが予想されるため、届け出などを行う ②共催事業も含め、必要となる届出を的確に対処 ③市から目的外使用許可をいただき、利用者と連携し、CDや自作アート作品を販売する「物販」も積極的に実施	①実施	①実施	届け出が必要な案件はなかった。			
			②実施	②実施				
			③実施	③実施				
	3 市及び関係機関等との連絡調整	(1)協力・協調関係の構築 ①横浜市文化振興課、地域の市民団体、文化団体、区民活動支援センター、小中高等学校、商店街連合会、各関係機関等と定期的な情報交換を行い、協力・協調関係を築き、信頼関係を深め、地域との連携体制を確立、特に(公財)大倉精神文化研究所及び北部公園緑地事務所とは緊密な関係を築き、施設の運営に支障がないよう努めます ②関係機関の連絡網を整備し、必要に応じて決定事項を伝達する仕組みを継続 ③(公財)大倉精神文化研究所及び北部公園緑地事務所との連絡	①実施	①実施	(1)協力・協調関係の構築 横浜市文化振興課、地域の市民団体、文化団体、区民活動支援センター、小中高等学校、商店街連合会、各関係機関等と定期的な情報交換を行い、協力・協調関係を築き、信頼関係を深め、地域との連携体制を強化した。 特に、財団法人大倉精神文化研究所及び北部公園緑地事務所とは緊密な関係を築き、施設の運営に支障がないよう努めた。 関係機関の連絡網を整備し必要に応じて決定事項等(新型コロナウイルス感染症拡大防止の横浜市ガイドライン等)を伝達共有する仕組みづくりを継続している。財団法人大倉精神文化研究所及び北部公園緑地事務所との月1回の連絡会議を実施した。			
			②実施	②実施				
			③毎月実施	③実施				
	4 その他	(1)近隣対策 ①撮影協力時に、騒音や撮影行ため等によって施設利用者や近隣住民に迷惑が及ぶことがないよう努める ②施設外観等を利用する撮影協力の際は、施設利用者及び近隣住民への事前説明を行う ③施設屋外や公園を使ったイベントや事業を行う際には、施設利用者及び近隣住民への事前説明を行う (2)備品のリスト ⑤常に最新リストに更新して管理点検を実施	①実施	①実施	(1)近隣対策 ①撮影協力時に、騒音や撮影行ため等によって施設利用者や近隣住民に迷惑が及ぶことがないよう努めた。 施設外観等を利用する撮影協力の際は、施設利用者及び近隣住民への事前連絡を行った。 施設屋外や公園を使ったイベントや事業を行う際には、施設利用者及び近隣住民への事前連絡を行った。 住民の方の声に耳を傾け、施設に対するご意見やご要望をお伺いした。 また、夜間の騒音にも注意し、記念館ご利用者の会話をしながらの夜間の通行・近隣若者の集合など口頭注意を行った。 ②内容説明文を事前投函を継続した。 (2)備品管理 ⑤常に最新リストに更新して管理点検を実施した。また、ご利用者様の希望に沿った品ぞろえになっているかを確認した。			
			②実施	②実施				
			③実施	③実施				
④実施			④実施					
⑤実施			⑤実施					
その他	特記(提案事項要旨)	達成指標	目標	実績	特記事項	自己評価	行政評価	
	1							

令和2年度 大倉山記念館 指定管理者業務評価表(自己評価・行政評価)

※実績のチェック欄(数値目標のみ記載)について: 目標に対し+10%超の実績→「A」、目標に対し±10%内の実績→「B」、目標に対し-10%を下回る実績→「C」

評価項目		令和2年度計画	実施状況	評価	
総括	特記(提案事項要旨)	達成指標	特記事項	自己評価	行政評価
				<p>指定管理5年目である今年度においては、過去4年間に効果が上手く図れなかった項目に注力する事を心がけた。指定管理者としての強みである『花』をテーマとした自主事業を継続することで、大倉山記念館の価値創出を実践した。撮影に関しても誘致に結び付けられるよう積極的に注力してきたが、コロナの影響もあり、数値的には厳しい結果となってしまった。ただし、新規でコロナによる無観客でのネット配信など、新しい需要の取り込みが早期にできたことはよかったと考える。</p> <p>また、アンケート満足度では目標値を達成することが出来た。新型コロナの影響で自主事業が開催されず、悔しい思いがあるが、3月にご利用様が楽しみにしていた「スプリングジャズフェスティバル」を開催できたことは力となった。当館は不特定多数の方が来館される当施設だが、スタッフ全員による徹底した感染症防止対策で、クラスターなどの発生がない安全な施設を維持することができた。</p> <p>最終年度を超え、一年延長となったが、昨年度に引き続き、その集大成として地域の皆様に愛される記念館を目指す。PDCAのサイクルを記念館職員全員で共有し、ご利用者の皆さまが満足していただける、より良い事業・運営を目指し行動する。新型コロナウイルス感染症による『新しい生活様式』の中での施設利用を模索し、感染予防対策を徹底し、少しでも市民の皆様に喜んでいただけるよう努める。</p>	<p>令和2年度は新型コロナウイルス感染症という未曾有の災害に見舞われた年でした。厳しい状況の中、事業体のバックアップやノウハウの共有により、大きな混乱やトラブルなく対応していることを評価します。今後も、事業体間・地域・他の文化施設・本市などと連携した取り組みを行い、前例のない危機にも柔軟かつ適正な対応を行える体制づくりに努めてください。</p> <p>事業に関しては、感染症の影響で中止や利用人数の制限による縮小開催を余儀なくされる一方で、感染症対策の上、文化活動の継続に努めていることが確認できました。「フラワーアレンジメント教室」の開催や、縮小開催とはなったものの「オープンデイ」の開催など、指定管理者の強みを活かしつつ施設の魅力をPRしていることを評価します。また、文化財である施設の特性を生かし、撮影誘致について積極的に取り組んでいることを評価します。新型コロナウイルス感染症の影響で需要の増大が見込まれる動画配信利用については、新たな利用者を獲得する機会と捉え、積極的に利用促進に取り組んでください。</p> <p>施設の管理運営については、引き続き適正に維持管理し、速やかに修繕対応等の検討が進められるよう、関係者への情報共有を行ってください。</p> <p>令和3年度も新型コロナウイルス感染症の影響の継続が予想されますが、コロナ禍での文化施設運営について検討を重ね、感染症対策の上で事業を継続していくことを期待します。培ってきたノウハウを生かし、より多くの市民に愛され親しまれる施設を目指してください。</p>